

ぼくのおじさん (2016)

メディア 映画

ジャンル コメディ

製作国 日本

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2016/11/03

公開情報 東映

映倫 G

【キャッチコピー】

ホントに困った人だけど、
みんな、ぼくのおじさんが
大好きです。

【解説】

人気芥川賞作家の北杜夫が自身をモデルにした冴えない“おじさん”を主人公に綴る同名ユーモア児童文学を、「天然コケッコー」「もらとりあむタマ子」の山下敦弘監督が「舟を編む」「モヒカン故郷に帰る」の松田龍平を主演に迎えて映画化。兄夫婦の家に居候する自称・哲学者のおじさんが、しっかり者の甥っ子・雪男とともに意中のマドンナを追ってハワイで繰り広げる珍道中の行方をハート・ウォーミングに描く。共演は雪男役の大西利空のほか、真木よう子、戸次重幸、寺島しのぶ、宮藤官九郎。

“自分のまわりにいる大人について”というテーマの作文に頭を悩ませていた小学生の雪男は、居候している“おじさん”について書くことに。そのおじさんは大学で哲学を週にコマだけ教える以外は、いつも万年床でゴロゴロしている怠け者。しかもケチで運動音痴のクセに、屁理屈ばかりこねているから、雪男の母からはあからさまに毛嫌いされていた。そんなある日、おじさんは無理やり紹介されたお見合いで、日系4世の美女・稲葉エリーと出会い、一瞬にして恋に落ちてしまう。ところが、エリーは祖母が経営するコーヒー農園を継ぐためにハワイへ帰ってしまう。お金はないけどエリーに会いたいおじさんは、どうにかしてハワイへ行こうとあれこれ策を練るのだったが…。

【クレジット】

監督	山下敦弘
製作	多田憲之
	中村理一郎
	亀山慶二
	渡邊耕一
	間宮登良松
	木下直哉
	東実森夫
	松田美由紀
	柿本卓史
	吉村和文
	長澤一史
	佐藤公彦
	樋泉実
	椎木隆太

	芳賀正光	
プロデュース	蔵本憲昭	
企画	須藤泰司	
プロデューサー	川田亮	
	根岸洋之	
	内山修一	
ラインプロデューサー	原田耕治	
原作	北杜夫	『ぼくのおじさん』 (新潮文庫刊『ぼくのおじさん』所収)
脚本	春山ユキオ	
撮影	池内義浩	
美術	原田恭明	
デザイン	小林久之	
衣裳	馬場恭子	
	宮部幸	
編集	佐藤崇	
音響効果	井上奈津子	
音楽	きだしゅんすけ	
照明	岩下和裕	
録音	石貝洋	
装飾	澤下和好	
ヘアメイク	望月志穂美	
助監督	窪田祐介	
出演	松田龍平	おじさん
	大西利空	春山雪男
	真木よう子	稲葉エリー
	寺島しのぶ	春山節子
	宮藤官九郎	春山定男
	キムラ緑子	Kimura Midoriko 智子おばさん
	銀粉蝶	稲葉キャシー
	小菅汐梨	春山恵子
	佐竹遙人	
	森萌々穂	
	岩谷健司	
	マホモリータ	
	服部竜三郎	
	坂本慶介	
	松浦祐也	
	佐藤宏	
	緒沢あかり	
	逢坂由委子	
	二宮弘子	メアリおばあちゃん
	戸田恵梨香	みのり先生

